

議会だより

さくほ



第85号

2026.7.23

令和8年6月定例会

私の佐久穂のイチ押し

「青空と深緑の余地ダム」

小池 学 議員

初夏の余地ダムからの眺めです。
晴れた日は絶景です。

目 次

- P 2… 6月定例会の概要・
町長招集挨拶・臨時議会
- P 3… 千曲病院事務長インタビュー
- P 4… 総務文教常任委員会審査
- P 5… 経済福祉常任委員会審査
- P 6～13… 一般質問
- P 14・15… 議会報告会・おでかけ議会
- P 16… 小学生の傍聴・編集後記

一般質問の詳細は
佐久穂町議会ホームページ
の音声データ等でご確認く
ださい。



過去の一般質問の内容を聞くこと
ができます。

発行：佐久穂町議会
議長：須田 芳明
編集：議会広報特別委員会
〒384-0697
長野県南佐久郡
佐久穂町大字高野町569
TEL.0267-86-2556

印刷：キクハラインク有限会社

いいね
押してね

さくほ議会
Facebookもチェック

さくほ議会

検索





令和8年6月3日～18日

6月 定例会



条例及び補正予算に関する専決処分の承認案6件、病院事業会計決算の認定案1件、条例案4件、補正予算案2件、その他案4件が原案のまま全て承認・認定・可決されました。陳情2件も採択となりました。
(採決の分かれた議案はありませんでした。)

町長招集あいさつ **ピックアップ**

町内外の動き

- 気象庁や国土交通省から発せられる「新たな防災気象情報」の運用が開始されております。レベルの数字が付されることで、直感的に避難のタイミングを判断できます。したがって、レベル3の「避難に時間がかかる高齢者等」から、レベル4、レベル5は自主的に避難を開始する判断ができるようになりました。町からの指示等がなくても、テレビ・ラジオや気象庁サイト「キキクル」等から情報を積極的に活用し、当町にレベル3以上が発令され場合、自主的に避難行動を考えてください。詳細は 広報さくほ5月号 及び 町ホームページの防災ポータルなどで確認ください。

町政の動き

- 4月15日に開校を迎えた学校法人 茂来学園の中学・高校からなる大日向中等教育学校（佐久西キャンパス）の「開校を祝う会」が、盛大に開催されました。
- 4月末日をもって八千穂福祉センター内出張所を廃止し、5月から日本郵便株式会社信越支社との行政事務委託契約を締結しました。これによって、八千穂郵便局で戸籍等の交付やマイナンバーカード手続き等のサービスが開始されました。
- 今年度から、すべての保険者で負担することになった「子ども・子育て支援金制度」の創設に伴う、令和8年度の国民健康保険税率について、国保税率をほぼ据え置く内容として本定例会に税率改正を含めた条例の改正案を提出しました。
- 佐久穂町ゼロカーボン推進補助金の交付事業を開始し、この2か月で予算の半分に至る交付申請を受け付けております。今後の状況を注視しながら、更なるゼロカーボン推進に努めてまいります。

臨時議会

令和8年4月24日

臨時議会に提案された案件は補正予算案2件、人事案2件の計4件でした。

補正予算案は駒出池キャンプ場給水施設の緊急対応、及び病院固定資産購入、人事案は教育長に渡邊秀二氏、教育委員会委員に由井正宏氏を再任することへの議会の同意を求めるもので、それぞれ可決しました。

令和7年度 千曲病院決算を終えて

竹内俊文事務長インタビュー



問…令和6年度から7年度の千曲病院は、どのような状況でしたか？

事務長…令和7年度当初、千曲病院は大変厳しい経営状況にありました。町からの一時借入金がなければ、運営が立ち行かない状況でした。

※詳細は5p 経済福祉常任委員会をご覧ください。

問…経営危機を乗り越えるために、どのような対策を取ったのですか？

事務長…国が進める高齢者向けの「地域包括医療病棟」への変更に取り組みました。この病棟は、軽症・中等症の高齢者の救急搬送受け入れと、リハビリなどで患者さんの早期の在宅復帰を支援する役割を担い、診療報酬も高く

設定されています。

しかし、平均在院日数の短縮や在宅復帰率の達成、土日を含めたりハビリ体制の整備など、厳しい基準を満たさなければなりません。当初は「うちの体制では困難ではないか」と懸念を抱いていました。

問…何が変更を後押ししたのでしょうか？

事務長…状況を変えたのは、現場の職員のみなさんでした。危機感を共有し、各部門で自主的に制度や運営方法を勉強し、体制整備を進めました。特にリハビリテーション部門では、数年前からこの病院のあるべき姿を整えるべく、スタッフ増員などの強化策に取り組んでいたことが、土日を含めた365日のリハビリ提供を可能にしました。その結果、令和7年6月には新病棟の運営が軌道に乗り、年度内には一時借入金の返還もできる見込みとなりました。令和8年度の診療報酬改定による基準緩和や点数引き上げも追い風となり、経営の健全化は大きく前進し

ています。

問…老人保健施設「さやか」との統合にあたり、どのような課題がありますか？

事務長…老人保健施設は在宅復帰を目指す「中間施設」というのが本来の目的ですが、長期間入所し続けている利用者がいたり、本来行うべき退所支援や次の介護保険施設等への変更調整ができていませんでした。

現在、職員はこの課題と正面から向き合い、リハビリや在宅復帰支援に重点を置いた運営へと改革を進めています。

統合は病院にとって大きな負担ですが、町全体を見てやらなければいけないという思いで取り組んでいます。

問…千曲病院の将来をどのように考えますか？

事務長…人口減少が進んでいく中で、存続するには、常に変化していかなければなりません。維持だけを考えると衰退しかありません。

今までも必要と思うところには思い切って投資してきました。投資しなければ改善されない、改善されなければ人は集まらない。自分たちが必要だと

思うことをしっかりやるという考え方（文化）が職員に根付いてきて、各部署で思考回路が大きく変わったと感じています。今は新しいことにどんどんチャレンジして、一人ひとりが成長しています。

そのことが将来への大きな力になると思います。厚生労働省がかつて発表した「再編・統合の議論が必要な病院」のリストから、千曲病院が消えた訳ではありません。それに対応する方法をずっと模索しています。

その意味でも、これからは近隣の病院・施設との「地域の連携」が、より重要になると思います。

問…佐久穂町のみなさんへ伝えたいことは？

事務長…職員みんながんばっています。世の中は変化していますが、これからも、千曲病院へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

インタビューを終えて

千曲病院の持続可能な地域医療・介護への努力のお話を聞くことができました。いつまでも、わたしたちの安心のもとであるように願っています。

総務文教常任委員会

総務課

承認案4件、議案6件、陳情1件が付託され、原案通り承認・可決・採択すべきものと決した。

- 令和7年度佐久穂町一般会計補正予算
- 令和8年度佐久穂町一般会計補正予算
- 財産の処分について

問 旧やちほ夢の森の土地、建物、工作物の譲渡について、工作物は無償とあるが理由は。

答 工作物は敷地周辺の設備であり、主に合併浄化槽を指す。これは平成12年に設置されたもので、すでに耐用年数を過ぎていたため、無償で引き渡すこととした。



旧やちほ夢の森

住民税務課

- 令和7年度佐久穂町一般会計補正予算
- 令和7年10月開始の猫の繁殖制限手術補助の申請者は。

答 個人の方である。ただし、野良猫については県の動物愛護推進員を通じて対応したケースもある。

- 令和7年度佐久穂町国民健康保険特別会計補正予算

問 歳入の県普通交付金は保険給付費が大幅な減額で原因は被保険者の減少ということだが、今後の見通しは。

答 県は令和15年を目標に保険料の全県統一を進めている。統一後は広域的な運営となるので、町内の医療費が大きく増減しても影響は小さくなる。現在、町の国保財政は安定しているのでこのまま令和15年につなげたい。

- 令和7年度佐久穂町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 令和8年度佐久穂町一般会計補正予算
- 佐久穂町税条例の一部を改正する条例の制定について
- 佐久穂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

総合政策課

- 令和7年度佐久穂町一般会計補正予算
- 令和8年度佐久穂町一般会計補正予算

問 小海町との同盟事業に基づき、若者に選ばれる事業者育成事業の内容は。

答 小海町とは同盟協定に基づき事業を検討している。若者に選ばれる事業者育成事業は商工会が主体となり、県の元気づくり支援金を活用して3年目となる。合同就職相談会などを共同で実施している。

こども課

- 令和8年度佐久穂町一般会計補正予算
- 令和8年度栄保育園・佐久穂小中学校LED照明リース事業契約の締結について

問 10年後のリース終了時、所有権移転に伴う新たな費用は生じないか。

答 町がそのまま設備を引き取ることになる。追加の費用は発生せず、所有権が町に移転される。

議会事務局

○「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書

経済福祉常任委員会

承認案3件、認定案1件、議案4件、陳情1件が付託され、原案通り承認・認定・可決・採択すべきものと決した。

産業振興課

○令和7年度佐久穂町一般会計補正予算

○佐久穂町積立基金条例の一部を改正する条例の制定について

問 宿泊税の活用方法は。

答 使用条件は新規事業創設などに限られている。白駒の池登山道への案内看板の設置や、来年度開催される信州ディステイネーションキャンペーン等で活用していく予定がある。

○令和8年度佐久穂町一般会計補正予算

土づくりセンターの運営や新規就農補助金等



佐久穂町土づくりセンター

建設課

○令和7年度佐久穂町一般会計補正予算

○令和8年度佐久穂町一般会計補正予算

問 住宅新築助成金の補正理由は。

答 元々昨年度実績の半額で計上し、下半期に予算の追加を行う予定だったが、予想以上に申請があったため今定例会での補正案を提出した。この助成金については予算が尽きたら終了ということではなく、できる限り追加の予算計上を行いたい。

健康福祉課

○令和7年度佐久穂町一般会計補正予算

問 予防費の大幅な減額補正が行われた理由は。

答 予防接種費の実績に伴う減額が主な理由。インフルエンザ予防接種については町内高齢者の8割分で予算計上を行っていたが、実際の接種は予算の6割にとどまった。

○令和7年度佐久穂町介護保険特別会計補正予算

○佐久穂町新型インフルエンザ等対策本部条例の一部を改正する条例

○令和8年度佐久穂町一般会計補正予算

障害者自立支援システムの改修や海瀬屋内ゲートボール場の屋根の修繕等

問 屋内ゲートボール場の今後の修繕等の予定は。

答 現在、海瀬屋内ゲートボール場1棟に利用を一括集中している。他の屋内ゲートボール場については用途変更等を行わず令和12年以降に順次解体する計画。

○令和8年度佐久穂町介護保険特別会計補正予算

町立千曲病院

○令和7年度病院事業会計決算の認定について

概要 収益的収入は20億2199万円、収益的支出は20億2416万円となった。病院事業総収益および総費用（収益的収支と資本的収支の合計額）は、前年度に計上した9952万円の損失を大幅に下回る918万円の損失となった。病棟の一部を地域包括医療病棟へ変更したこと、人間ドックの利用者数増等が収益の増加につながったが、支出面では人事院勧告による人件費の増加や物価高騰による費用の増加が目立った。診療体制が整ったこと、喫緊の課題となっていた院内ネットワークの整備事業が無事終了した。

議会事務局

○OTC類似薬の追加負担を行わないことを求める陳情書

一般質問

6月定例会では6月9日(火)と10日(水)の2日間にわたり、議長を除く 11名全員が一般質問を行いました。

以前は、くじ引きで一般質問の順番を決めていましたが、12月定例会から通告を行った順番にあらためています。

傍聴者の人数は、9日が17名、10日が9名でした。

本会議のほか、委員会及び全員協議会は佐久穂町議会基本条例第6条第2項に規定するとおり公開を原則としています。公開対象となる会議等は日程が決まり次第、ホームページ等でご案内いたします。傍聴を希望される方は、本会議を除き事前に議会事務局にご連絡ください。会議の内容により傍聴をお断りすることもあります。

6月定例会一般質問（令和8年）

観光産業これまでの取り組みは

市川 高志 議員

老人保健施設の運用は

高見澤 敏幸 議員

災害法制と備えについて

高見澤 利博 議員

千曲病院・老健統合の目的は

石井 正行 議員

むかたんのこれからは

竹内 達朗 議員

行政運営の業務委託について

櫻井 ふづき 議員

八千穂高原別荘地の現状は

那須野 茜 議員

施設運用の未来図は

小池 学 議員

建設資材の不足、町の認識は

友野 博文 議員

空き家対策と移住者の受け入れは

佐々木 信幸 議員

文化財保護に対しての町長の考えは

高見澤 春野 議員

観光産業これまでの取り組みは

市川 高志



町長 佐久穂町観光ビジョンの提言を踏まえ、観光振興を推進している。

老人保健施設の運用は

高見澤 敏幸



町長 施設の責務である「利用者の人権擁護」と「自立支援」を第一に取り組んでいく。

問 観光産業についてこれまで町はどのような取り組みをしてきたのか。

町長 観光パンフレットを作成し、町内の資源や施設をPRすることが中心だったが道の駅八千穂高原に併設された観光案内所では佐久地域の各市町村のパンフレットやポスター、映像などを常時備え情報を定期的に更新して案内している。

産業振興課長 町有施設の課題として、かつては町が直営で管理運営していた施設は、恒常的に赤字体質のため存続が危ぶまれる施設があった。持続可能な施設の運営を考える上で、選択と集中という

難しい状況判断を伴いながらも、民間事業者の活力を活用することに活路を見いだし大きな成果が出ている。また道の駅には観光案内所が併設され、ここを拠点に周遊できるよう町内や佐久圏域の観光スポット、各店舗施設も案内している。

問 佐久広域連合観光部会や環八ヶ岳連携推進協議会での町長の施策は何か。

産業振興課長 観光客の視点に立てば、市町村の境界というものは余り意味がなく、そのエリア一帯に、どのような場所があるのかといったより広い視点が重要。広域的な観光戦略により関係市町村が連携し、来訪者の底上げを図っていく。

問 八千穂レイクや自然園にも立ち寄れるバス運行はできないか。

産業振興課長 よりよい二次交通の在り方は関係者の皆様と意見交換を行う。

問 観光産業について町長は選択と集中の考えはあるか。

産業振興課長 課題がある中で、民間活

力を活かすような方向性を一つの選択としこれまで課題解決を図ってきた。

この取組により、施設の存続や新たな雇用創出、町の財政負担を減らした。佐久穂町観光ビジョンでは、身の丈に合った観光の在り方が求められており、何を選択し集中させればよいのかを検討していく。

問 観光振興の主役は観光事業者だと考えている。町は下支えとなる道路やインフラの整備、官民連携による情報発信の強化、各種補助金制度等による事業者支援などに力を入れて取り組んでいく。

問 町営住宅の退出時の確認方法は適正に実施されているのか。

町長 114戸の町営住宅があり人口の減少や施設の老朽化による管理、運用面、町職員の減少と業務量の増加等の課題もあり、6月から民間事業者の一部の町営住宅の指定管理を実施している。

総務課長 町営住宅入居者のしおりに退去時の修繕等についても掲載している。写真等を取ったものについては退去するまでの間、写真等がない方については、入居したときの状況を、その台帳の中に残してある。

問 指定管理者に町営住宅の状況は説明できているのか。

総務課長 居住されている中での居室の確認には困難があった。事業者と町の間で、今後も連携しながら対応していく。



トサゲ委託地区民団地
と民間団地
の間にある
グラウンド
とグラウンド
の間に
積まれた
穂波

問 基本計画で目指した施設の姿とは。

副町長 常に職員一人ひとりのスキルアップを図りながら、医師、看護師、介護士、理学療法士などの専門職員が一体となり、日常生活から医療的ケアまでを高いレベルで提供する施設であり、その実践を通じて、町民の信頼を獲得するという施設を目指してきた。この基本的な考え方については、現在も変わりはない。今後は千曲病院の1部門として理念を共有し、地域に信頼され、愛される老人保健施設を掲げ、事業を進めていく。

問 入所者定員が29名に縮小されたことで利用者に迷惑は掛かっていないか。

病院事務長 ごく近い将来にはワンフロア29床の運用に移行する計画があった。利用者の方々が、春になり徐々に在宅復帰を予定されており、他施設への移動依頼が不要であることが判明したため、4月1日からワンフロア29床での運用を開始した。

問 「広報さくほ」などで、全般的な周知はされているが、個別の周知はどのようにされるのか。

病院事務長 老人保健施設等を利用する際の基本的ルールについて、本来必要な方の利用が制限されないよう、権利とともに義務があることを丁寧に広報していく必要があると考えている。

問 千曲病院という大きな組織の中での運営管理に問題は発生していないか。

病院事務長 千曲病院にとっては負担増につながっているが、老健においては、

特に職員間の情報共有化体制が大きく改善した。これまで閉ざされた環境で、正しい情報伝達や共有が十分でなかった点が、大きく改善しつつあると認識している。病院職員も積極的に老人保健施設の中に入り、改善活動を進めている。

問 町で考える質の高い医療福祉サービスとは何か。

病院事務長 外部専門家を招いてのケアプランの立て方等の研修・病院薬剤師による薬剤管理・感染症対策・作業療法士の定期的な関わり・歯科医師会との連携による口腔ケアの取組など、単独の老人保健施設としては難しかった取組に積極的に取り組むことが可能となった。最新の知見に基づく業務のアップデートを続けることが、サービス向上につながると考えている。

問 町民にとって必要不可欠な施設である公立の老健さくほの今後の展望は。

病院事務長 要介護2以下の方の受け入れ先として、どのような施設が必要とされ適しているかを検討しつつ、本来の正しい老人保健施設としての在り方を踏まえ、可能な限り受け入れていく努力を進めていく。



老人保健施設「さくほ」

災害法制と備えについて

高見澤 利博



町長 迅速な意思決定と二元的な指揮体制は重要である。

問 防災減災を町政の主流にするべきでは。

町長 県をはじめ、気象庁・中部電力等の関係機関とも平時から情報共有や災害時の連携に対する打ち合わせ、訓練実施にこれまで以上に努めている。

問 要配慮者対応の福祉避難所は推進しているのか。

総務課長 現在のところ、町内5施設・町外1施設をお願いしてあり対

応可能である。

問 国からの防災力強化交付金の活用を図るべきでは。

総務課長 町の事業計画や地域防災計画に沿って、災害に強い安全安心な町づくりに向け、積極的に活用していく。

問 母子専用避難所を設け、乳幼児の授乳や夜泣きなど不安や精神的負担を軽減できる環境整備の考えは。

総務課長 こどもセンターの母子検診室等を専用避難所とすることも想定しておりアレルギー対応の粉ミルクを含め使い捨て哺乳瓶・紙おむつ・ベビーベッド等は備蓄している。



問 今夏も異常な暑さが続くと言われているが、当町に於いてのクーリングシエルトが、役場・茂来館・道の駅に設定されているが、活用については大丈夫か。

町長 当町に於いては、基本状況や高齢者等への影響を踏まえながら、業務に障害の無い範囲での柔軟な利用を可能としている。

問 近年は、SNSの普及に伴い暴行やいじめの様子が動画として拡散されているが、当校に於いての校内暴力対応については。

教育長 安心できる学級の風土づくり、例えば失敗や間違いを攻撃しない空気、嘲笑やからかいの防止、仲間から排除する行為を許さない姿勢など、丁寧に分かりやすく伝える学級運営を考えている。

こども課長 校内暴力に対する予防策として、児童生徒に定期的にアンケートの実施をしており、困り事や悩みなどの聴き取りも行っている。

問 母子健康手帳の電子化に向けての考えは。

健康福祉課長 国がマイナンバーカードを活用した予防接種デジタル化を順次、令和10年度に向けて実施方向であり、乳幼児の予防接種デジタル化と一緒に母子健康手帳

の電子化も実施する。

問 外国の方々が当町にも働きにきているが、妊娠・出産の時には必要に応じてお手伝いはしていくのか。また、単独で行っている町からの祝い金についての考えは。

健康福祉課長 外国の人であれば、町内に住所を有する方であれば、母子健康手帳を取得し国からの支援金も町からの祝い金も対象となる。



山林火災放水訓練

千曲病院・老健統合の目的は

石井 正行



町長 サービスの質の向上が第一。

むかたんのこれから

竹内 達朗



町長 必要な改修など予算の範囲で。

統合の経営実態と財政影響について

問 統合後の財政影響と4つの目的の達成状況は。

町長 病院との合併は介護老人保健施設のサービスを直し、社会情勢に合わせて更新する契機となった。サービスの質の向上を第一とし、医療と介護の連携強化、地域包括ケアシステムの強化を推し進めることで、経営の効率化につながっていくものと考えている。

問 令和9年度以降の繰出金の見通しと経営強化プランの修正時期は。

病院事務長 令和7年度決算における純損失はプラン上の損失計画より少ない赤字額である。経営強化プランは現在のところ老健分を含めておらず、令和9年3月には統合を反映した再修正計画を提出する予定である。なお令和8年度の繰出金には老健分の赤字見込みが含まれており、今後増加させない努力を続けていきたい。

老健職員の給与減少問題について

問 老健介護士と千曲病院介護士の給与格差はどのように生まれたのか。

病院事務長 老健は町の事務職と同様の行政職給料表の運用であり、病院介護士は現業に近い運用基準を適用しており、年齢に応じた昇格基準の違いから、長年のうちに格差が生じてきたものである。

問 給与水準を数値で町民に明らかにすべきと考えるが。

病院事務長 老健正職員の年収は480万円強から680万円程度であり、全国平均の1.3倍から1.8倍に当たる。

千曲病院看護師とほぼ同水準であり、千曲病院看護補助職員より高い状況にある。離職の要因は給与の問題ではなく、職場環境など様々な事情に関わるものと考えている。

人材確保の現状と戦略について

問 夜勤体制の確立状況と職員融通の見通しは。

病院事務長 ワンフロア化により完全2名夜勤体制が組めるようになり、利用者も職員も余裕を持って対応できる体制となった。見守りインカムシステムの老健への展開も今後検討していく。千曲病院は育児休業等を取得しやすい職場づくりも進めている。

感染拡大等による機能停止リスクと広域連携・情報公開について

問 機能停止に至る限界ラインと判断責任者は。

病院事務長 限界ラインは感染対策チームが判断し、最終的には院長が指令を出す。事業継続計画は介護医療院や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所などでも既に作成済みである。

問 統合後の経過と計画改定はいつ議会・町民に示されるのか。

病院事務長 9月定例議会に補正予算案を提出する予定である。あわせて令和9年3月に経営強化プラン修正版を作成し、長野県を通じて総務省に提出するとともに、千曲病院のホームページにも掲載し、町民に分かりやすく公表していく。



1 ふるさと遺産収蔵館

(むかたん)のこれから

問 管理の状況は万全とは言えない、現状をどう捉えるのか。今後の一般公開は。友の会をどのように位置づけているのか。

町長 収蔵館は分散保管されていた文化財資料を1か所で保存管理されたもの。資料は19万7千点に上っている。必要な改修などを予算の範囲内で行う。

生涯学習課長 一般公開は令和3年から行っている。初年度は3回、以降年間2回開催している。これ以上行うのは難しい。ブラインドカーテン、消防設備、トイレ改修を行っている。資料の保存管理の必要があり、日常的な一般公開は未定。

問 友の会は令和2年7月に町内から住民ボランティアが参加する形で発足している。友の会にどのようなかわるのか。

教育長 設立趣意書にあるとおり、収蔵館の運営協力に感謝している。

生涯学習課長 教育委員会との協業という形で進めていただいている。基本台帳作成の諸作業をお手伝いいただけないかと考えている。収蔵館運営は友の会なくしては成り立たない。



2 一般廃棄物処理基本計画の課題

問 幅広く意見を集めるため、無線放送も使っべき。粗大ゴミやリサイクルの検討は。キエーロ普及についての考えは。

住民税務課長 無線放送等を使い、広く周知に努める。民間事業者や個人が主体となってリユースイベントが予定された際には、できる限りの支援をしたい。最近、キエーロを含む消滅型コンポストが販売されている。一般に流通しているキエーロに加え、オフィシャル認定アドバタイザーを通じて購入したものも補助対象となるか検討したい。

3 第3次佐久穂町総合計画に関して

問 20年を振り返って実施状況をどう評価するか。審議会は公開されるのか。住民参加での計画策定として審議を進める過程で、意見公募やタウンミーティングの予定は。

町長 合併以降約20年間にわたり、まちづくりの基本指針としての役割を果たしてきた。第3次総合計画は、町の将来を展望し持続可能な発展を実現する最重要課題と認識している。

総合政策課長 審議会の公開は忌憚なく自由な意見交換を保障するため原則として非公開の方針。一昨年行った住民アンケートをベースとするので住民の意見は反映されている。タウンミーティングは予定しないが、できあがった案についてのパブリックコメントを予定している。

行政運営の業務委託について

櫻井 ふづき



町長 業務の性質・経費など総合的に選定する。

行政運営の業務委託について
問 委託先の選定と決定の方針と情報公開は。

工事についてはホームページで公表する。

妊婦健診費用の自己負担について

問 妊婦健診で町の公費助成を超えて妊婦が負担した金額を、町は把握しているのか。

健康福祉課長 長野県妊婦一般健康診査実施要項に基づき補助券を発行し、それ以上の個々の金額の把握はしていない。

問 検査内容と妊娠費用の「見える化（説明）」は。

健康福祉課長 妊娠届の際に保健師より、約1時間かけて、健診の受診券はあくまでも補助で全額補助ではないこと、妊娠中に受けられる妊婦健診受診券や妊婦歯科検診受診券、産婦健診受診券の補助制度、その他各種案内・受けられる検査を「佐久穂子育てプラン」を見ながら説明している。

国の子育て支援法が施行され、妊娠届時と出産後に各5万円が給付されることも説明する。

消防団の処遇と消耗品管理について

問 団員の活動実態を反映した処遇か。

町長 実態を踏まえ、活動報酬の支給方法の変更や運転免許修得補助を設け、処遇改善に努めていると

人の持ち出しはない。

総務課長 階級ごとに責任と役割に応じた「年額報酬」と、出勤報酬・警戒報酬・訓練報酬の「活動報酬」を、的確な支給を明確にするため、現在すべて個人名義の口座へ支払っている。

問 軍手・被服などの団員が使う物と、土のう袋やロープなど消防活動に使う物の購入と配布について。

総務課長 法被・作業着一式・ヘルメットなど、作業中の安全確保や団員の判別や規律維持の観点から統一して準備する物は、町から支給する。



八千穂高原別荘地の現状は

那須野 茜



町長 長年別荘を利用しない契約者もあるが、様々な事情があるものと思われる。

施設運用の未来図は

小池 学



町長 利用者の笑顔が生まれる場所としたい。

1 別荘地の管理状況について

問 長年利用されていない家屋について。

産業振興課長 別荘管理人を配置し、別荘内の巡回は毎日実施している。特定空き家として措置を行うことは法的には可能だが、公費解体の財源は別荘契約者から納入された管理料等が充てられることになる。

問 管理料などの未納事例の現状は。

産業振興課長 契約者397件に対し、年間で約30件から40件の未納が発生しており、1年で発生する未納額は約280万円程度。20年を超える延滞の事例もある。年1回の納付書発行に対して宛て先不明で返送される件数は令和7年度で4件であり、おおむね連絡はつく状態と認識している。

問 相続が放棄された場合の対応は。

産業振興課長 相続人に相続の意思を確認し、継承する意思がない場合は、建物の取り壊しをした上での解約をお願いしている。相続人がいない別荘は相続財産清算人が財産処分を行うことになるが、清算金が別荘負担金の未納分に充てられるかは難しい。

2 防災行政無線戸別受信機の利用状況

問 戸別受信機の位置付けと、利用状況の把握方法は。

町長 全世帯への設置が望ましいが、個々の生活スタイルの変化や情報取得の多様化の中、義務とまでは位置付けていない。

総務課長 戸別受信機的重要性や、修理

に関しての周知はホームページ等を利用して発信を行っていく。機能更新等を検討する際には、現状も踏まえたアンケート調査等を行っていききたい。

3 部活動中の災害対応について

問 災害対応のマニュアル化や他校との協議状況は。

教育長 来年から休日の部活動の地域展開が広がるため、現在ある緊急対応マニュアルにこの部分も追加する。各施設のAED設置場所は確認しているが、さらに分かりやすい表示等を検討する。

問 発災時の行動について保護者への連絡手段は。

教育長 電話、学校で使用している安否確認システム、災害用の伝言ダイヤル171、来年度に向けて整備中の専用アプリ等、複数の連絡手段を準備している。

問 指導員への救急救命講習や防災講習は行われているのか。

教育長 応急手当やAEDの取扱いに関する講習、部活動指導員主体の避難訓練の実施も含め、中学校及び南佐久6町村教育委員会等の関係団体と検討している。



八千穂高原別荘管理棟

問 元氣が出る公園の旧管理棟エリア活用の方向性は。

教育長 エリアについてこれまで様々なご意見をいただき、活用していただいた実績がある。町にとって大事な施設であると認識している。

生涯学習課長 公園の利用が上部に集約され、利便性の問題、また、噴水を楽しむ利用者も少なかったため現在の管理棟とした。

旧エリアについて、課内で議論した結果、公園一体としての活用ではなく、別ゾーンとして活用していく考えとなった。今後、職員全体や町民のご意見をお聞きし、方向性を示していく。

問 公募設置管理制度（ポピュロン）の導入やコワーキングスペースとして活用する考えは。

生涯学習課長 社会体育施設としての位置づけのため、条件に該当しないことから制度の導入は出来ない。

コワーキングスペースとしての活用には、施設機能の改修に多額の費用が必要になることが予測されるため、現時点での考えはない。

問 公園への想いと将来像は。

町長 町民や利用者の笑顔が生まれる場所としたい。対象を現利用者に加え、若者や家族、佐久地域全体としてとらえていく。そのための仕掛けを、試行錯誤を重ねながら行っていく。

問 しらかば社会体育館トレーニングルームの用途変更と対応方針は。

生涯学習課長 利用者の減少や民間ジム

利用などの状況から、故障している2台の有酸素器具を廃棄する方針である。今後の需要を見据えたうえで、適切な施設管理・運用をしていく。ルームの用途変更も、鏡張りの部屋という特徴を活かし、柔軟に対応していく考えである。利用者にはホームページなどで周知していく。

問 社会体育グラウンドの管理・運用は。

生涯学習課長 千ヶ日向グラウンドは、各種団体や高校部活動の練習場所として利用していただいている。トイレは仮設での対応としており、昨年より、夜間照明の当たる場所に移設した。現在は週1回の清掃としているが、週2回の清掃とするよう対応していく。

穂積グラウンドを利用したい申し出があり、現在、代表者と協議の上、準備を進めている。トイレについては、敷地内にある集会施設のトイレを使用出来るよう交渉中である。



サッカーゴールが運び込まれ、新たな活用が始まった穂積グラウンド。今後の賑わいが期待されます。

建設資材の不足、町の認識は

友野 博文



町長 工事発注を計画的に進め、状況に応じ施工調整を行う。

建設現場の資材不足

建設課長 現状把握と災害備品状況は。

現時点で資材納入の遅れに伴う工期変更などの相談は受けていない。また、災害用備蓄については、有事の際に不備のないよう努めていく。



農業用水のパイプライン化

町長 実施状況と今後の予定は。

山腹幹線水路における堰ざらい、土砂崩落や落石による水路の詰まり、草刈りなどの管理作業を軽減する目的で、水路に蓋を設置する暗渠化を進めている。本事業は国の補助事業を活用し、令和12～13年度の完了を目指している。施工後も従来通り水利組合の管理が前提となっているが、地区ごとに一律

集中豪雨と林道管理

建設課長 現時点で4地区のパイプライン化を計画しており、今後の追加計画について具体的な予定はない。

産業振興課長 現時点では、緊急性の高い林道については、おおむね復旧または事業実施が図られている。

日常管理は、林務作業員3名が清掃、点検、草刈り等の作業に加えて他業務も行っている。3カ月ごとの定期点検に加え、大雨発生前後には職員と作業員が点検を実施する。事前には必要な対応を行い、事後には補修や清掃を行う。危険箇所の通報があれば現地を確認の上、

復旧対応を行う。

町長 地域協働や新技術導入の可能性は。

産業振興課長 地域協働による管理については、実施が難しい地区も想定され、一律の導入は難しい。一方、技術導入については、防災や省力化の観点から監視カメラなどの設置は将来的に考えられる。

熊対策 町の対応と緊急銃猟制度の進捗は。

産業振興課長 出没情報があれば、現場確認、無線放送での注意喚起、通学路付近では教育委員会とも連携する。パトロール中は、スピーカーによる注意喚起も行う。

緊急銃猟の体制整備が遅れている理由としては、危険と責任を伴う業務であるため従事していただく猟友会員への丁寧かつ十分な説明



が必要と考えている。引き続き早期の体制整備に向けて取り組んでいく。

空き家対策と移住者の受け入れは

佐々木 信幸



町長 移住者の皆さんと地域住民が未来を共創する町でありたい。

文化財保護に対しての町長の考えは

高見澤 春野



町長 データ化し収蔵することに注力すべき。

問 昨年度末に「空き家等及び所有者不明土地対策計画」が策定されたが、その内容とこれからの取り組みは。

総合政策課長 本計画の骨子は、

1、空き家は所有者自らの責任において的確に対応してもらうよう、啓発活動を通じて所有者・相続人の意識を高める。
2、空き家の存在を地域の問題として捉え、住民や民間事業者と連携しながら空き家バンク・各種補助金など、適切な管理・利活用を推進する。
3、倒壊や衛生上問題のある危険な空き家は、所有者への助言指導から解体補助金の活用、法的措置の執行まで優先的に対策を講じていくなどが中心となる。

空き家対策地域おこし協力隊の役割は

問 空き家対策として地域おこし協力隊を2名採用したが、町外から来る協力隊員に空き家対策を委ねる意図はどこにあるのか。

総合政策課長 今までは空き家になった後でどうしようという対策だったが、今回はその前段階で居住者や後継人に適切なサポートをして空き家を生まないようしていく。「おうちタイムレスプロジェクト」と銘打ち空き家を生まない仕組みづくりに挑む。協力隊員が高齢者のお宅や地域で行われているサロンなどに出向いて話を聞き、適切なタイミングで将来持ち家をどうするのかを一緒に考え決めるサポートをしていく。

役場の空き家担当や健康福祉課、不動

産や建築などの専門業者でチームを組んで進めるこのプロジェクトの中心を協力隊員に担っていただく。知り合いや地元の人には話づらいことも、役場の名前を出して対応する地域おこし協力隊のほうが高齢者には安心なのではないか。協力隊員を町外の人と見ないで町を良くする仲間と捉えてほしい。

問 地域住民と空き家の関わりについて具体的に何ができるのか。

総合政策課長 空き家になったという情報提供や、所有者や相続人が訪れた時に声をかけてもらうなど出来る範囲でお願いしたい。

今後の移住者の受け入れについて

問 人口減少が続く佐久穂町にとって、移住者の存在はどういう意味を持つと考えるか。また、受け入れ態勢は。

町長 当町でも人口減少への対応は喫緊の課題である。その中で移住者の皆さんの存在は、地域社会に新たな活力を注入するという重要な意味を持つと認識している。

しかし、そのために町が大規模な宅地造成や住宅建設をするのではなく、民間活力により小規模な宅地やアパートなどがいろんな集落に点在してくれることが重要だと考える。町の伝統とか心とか自然の恵みなどの財産を、外から来た方にも財産だと思ってもらいその上で新しい価値観を付加してもらえような、そういう町を創りたいと考えている。

公民館の運営と事業について

問 目指す公民館像と今後の取り組みは。

教育長 社会教育法で示されている目的に沿った公民館の運営計画に従い、幅広い各種の事業を展開している。今後は一人でも多くの皆さまが生涯学習に参加してもらうきっかけづくりを強く進める必要がある為、相談しながら方策を展開していく。

生涯学習課長 茂来館の強みを活かし孤独感を感じている方、人との触れ合いが苦手な方も気軽に訪れて頂ける手段を考え、一人でも多くの住民の居場所として提供していきたい。

体育施設利用に関して

問 しらかば社会体育館のトレーニングマシン撤去と今後の考えは。

生涯学習課長 2台の有酸素系が壊れていて撤去する。残りの10台は使えるので、しばらくは今のまま活用する。今後故障等起きた場合の更新は検討していない。

問 高温対策とトイレ改修の考えは。

教育長 直接陽が当たらない体育館でも館内温度は高く、熱中症リスクは年々高まっているので対策は喫緊の課題である。

生涯学習課長 昨年度スポーツ少年団から熱中症対策物品の要望があり、今年度スポーツ協会へ熱中症対策補助金として50万円上乗せした。上限5万円、1/2補助（スポーツ協会に申請する）しらかば社会体育館のトイレの洋式化の

計画は現在ないが、利用実態に沿うような洋式化の計画検討を進めていく。

むかし探検館の今後の展望

問 むかし探検館は旧校舎の再利用でほとんど整備されていない。空調設備の充実、施設整備の必要をどう考えるか。

生涯学習課長 バリアフリー化の計画はない。収蔵館の中には温度、湿度の管理が必要な資料があるので施設全体ではなく一部の部屋の空調設備工事を行う必要があると考える。

問 社会教育法33、34条に基金、特別会計を設けることができる。これを踏まえて予算の増額は考えられないか。

生涯学習課長 今後の課題である。

問 むかたん友の会と茂来館が連携し、話し合いの場を多くしていくべきでは。

生涯学習課長 友の会の皆さまとさらに連携を深め文化財に関する知見を高め、意見交換をしながら対等な立場で整備や運営をしていきたい。

文化財保護

問 文化財保護審議会委員の増員と専門性の偏在の解消が必要では。

教育長 現在4名だが7月から1名増員の予定、条約定数は10名以内だが選定に苦慮している。専門性が偏っていると考えていない。

問 町長の文化財保護に対する考えは。

町長 データ化し、収蔵することに注力すべき。

議会報告会を開催しました

5月9日、第5回議会報告会を開催し、104名の皆様にお越しいただきました。今回は、議会の活動や町政の動きをより身近に感じていただけるよう、従来の報告形式に新たな試みを加えて実施しました。

ウェルカムコンサート

佐久穂小学校金管クラブの皆さんによるウェルカムコンサートからスタート。全員の息がそろった演奏はとても力強く、きれいな音色と歌声が会場全体に広がり、開会前の緊張をやわらげる温かな時間となりました。子どもたちの一生懸命な姿からは、地域の未来を担う存在としての明るさと頼もしさを感じ、会場に集まった多くの方々の心を自然と引きつけていました。



委員会報告



総務文教常任委員会、経済福祉常任委員会、議会活性化特別委員会、道の駅事業特別委員会の各委員会から、それぞれの活動内容や取り組みについて報告がありました。議会で話し合われている課題や、町の将来に向けた検討内容を町民の皆様に分かりやすく伝えることは、私たちの大切な役割です。アンケートの中には、「町の様子や事業、予算などが分かりやすくまとめられていて良かった」との声がある一方、「審議の内容や議員の見解も聞きたかった」とのご指摘もありました。今後は、いただいた声を

踏まえ、町民の皆様の暮らしに寄り添いながら、町政との橋渡しをしていくことが大切だと感じています。

癒しの時間「星のメリア」

その後、JA佐久浅間女性会オカリナサークル「星のメリア」の皆さんによる演奏が行われました。オカリナ特有の透き通るような音色で、「ふるさと」など誰もが親しみのある曲を演奏していただき、会場はやさしく穏やかな雰囲気になりました。地域の皆さんの活動が、報告会そのものを豊かに彩ってくださったことに感謝しています。



トークセッション「挑む町、佐久穂の未来図」

「挑む町、佐久穂の未来図」をテーマに、町内でさまざまなことに挑戦している若手事業者3名をお招きし、それぞれの活動内容や事業に込めた想い、そして佐久穂町の未来像についてお話を伺いました。町で実際に行動し、課題に向き合いながら新しい価値を生み出そうとしている方々の声を聞くことができ、会場全体が未来に向けて前向きな空気に包まれました。

登壇された皆さんの言葉からは、地域を良くしたいという熱意だけでなく、佐久穂町で暮らし、働き、挑戦することへの誇りが感じられました。人口減少や担い手不足など、地方を取り巻く課題は決して小さくありません。それでも、目の前の課題を悲観するだけでなく、自分たちの力で地域の魅力を掘り起こし、人と人をつなぎ、新しい流れをつくろうとする姿勢に感銘を受けました。

寄せられた反響も大きく、「若者の活気が感じられた」「未来を見据えた活動に刺激を受けた」「子どもたちにもこの姿を見せたい」といった前向きで明るいご意見をいただきました。佐久穂町の未来を温かく受け止めてくださった皆様に、心より感謝申し上げます。



左から小池議員 佐藤成暁氏 上原直樹氏 佐々木隆文氏

今回の新しい試みは、議会と町民、そして地域で挑戦する人たちをつなぐ機会となりました。寄せられたご意見を今後の改善に生かしながら、より身近で開かれた議会を目指して取り組んでまいります。

お邪魔
します。



がんばる
さくほの
チョー民

お出かけ議会です。

千曲技研株式会社を訪ねて

議会活性化特別委員会では、町民の皆さんとの交流を深め、ご意見をうかがうため、「お出かけ議会」を実施しています。

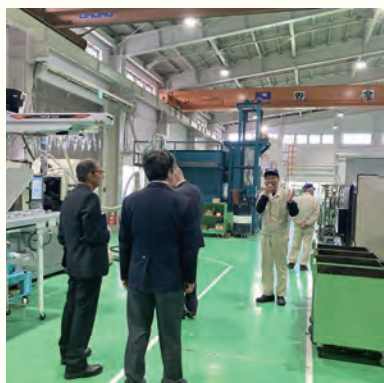
4月23日(木)、千曲技研株式会社を訪問しました。

工場では、最先端のNC(数値制御)装置と、あえてコンピューターに頼らない工作機械(フライス、旋盤)や磨きの様子や、社員のみなさんの技能アップのための研修室など、金型製造の現場を見学しました。

経済産業省事業再構築補助金を活用し、新しい分野のもの作りにもチャレンジしているとのことでした。

・赤レンガ倉庫の見学

敷地内にある赤レンガ倉庫「千曲」では、工作機械の発展の歴史を展示しています。明治・大正からの古い工作機械は整備されていて、動かしながらの説明は迫力あるものでした。



歴史を大事にしながら職人の技術を尊重し、さらに挑戦する姿に「さくほのバイタリティー」を感じました。

【お邪魔します。お出かけ議会です。】の参加団体を募集しています。グループでの意見交換を希望する方は

議会事務局 ☎86-2556にお尋ねください。

佐久穂小6年生の 議会見学が行われました



令和8年6月定例会で、佐久穂小学校6年生の皆さんによる見学が行われました。議場で議長による議員の役割や委員会審査の流れについての説明を受けたのち、議長席で集合写真を撮影。委員会審査の見学では、一人ひとりが真剣な表情でメモや感想を書き留めている様子が見られました。議場見学後には町の少子化対策や物価高騰対策について等の質問が投げかけられる場面もあり、議員側も良い刺激をいただきました。

こども課や町長室の見学も行われました。初めて入る町長室に緊張しながらも、町長へ佐久穂小中学校の建設費用などを質問。58億円という大きな数字の回答には、どのクラスからも驚きの声が上がりました。



今回の見学を通して、議会や町政について少しでも心に残ったものがあったなら嬉しいです。6年生の皆さん、見学にお越しいただきありがとうございました。

◆ 編集後記 ◆

新緑の季節から初夏へと移り変わる中で、町内では多くの行事や取り組みが行われ、議会としても地域の声に触れる機会が続きました。

お出かけ議会として訪問した千曲技研株式会社様では、地域に根ざしながら先端技術に挑む姿勢に触れ、町の産業の可能性を改めて感じる時間となりました。

第5回議会報告会では、若き事業者の皆さんによるトークセッションを実施しました。日々の挑戦や地域への思いを率直に語っていただき、参加者からも多くの共感と刺激の声が寄せられました。世代を超えて地域の未来を語り合える場の大切さを実感しています。

佐久穂小学校の運動会は、今年から初めて5月開催となりました。爽やかな青空の下、子どもたちが力いっぱい走り、仲間と協力し合う姿に、会場全体が温かな拍手に包まれました。保護者や地域の皆さんの応援も相まって、学校と地域が一体となる行事の魅力を改めて感じました。

6月定例会では、小学6年生が議会を傍聴しました。真剣な眼差しで議論を見つめる姿に、将来の町を担う世代へ議会の役割を伝える責任を強く感じました。今回の経験が、子どもたちにとって「まちづくり」を身近に考えるきっかけになれば幸いです。これからも、町の皆さんの声に耳を傾け、議会としての役割を果たしてまいります。